



～教育実習の先生方のおすすめ本～

教育実習の先生方から皆さんへ、本を紹介していただきました。図書館内に展示していますので、ぜひ読んでみてくださいね。

草津東高等学校図書館
本derful!!委員 発行
＜2017. 6. 9 紫陽花号＞
学校ホームページ版

『ベンチウォーマーズ』 成田名璃子：著

KADOKAWA（メディアワークス文庫）

＜内容＞

「選ばれた者は受験に失敗する」と言われるクラス対抗駅伝。今年クジで選ばれたのは、ベンチを温める問題を抱えた5人だった。リハビリ中のバレー部のエース、父親に反対されるもバスケットが好きな奴、自分が嫌い過ぎて内面を隠す女子マネージャー、自分に甘いおデブキャラ、家庭の事情でアルバイトをする女の子。5人が送る熱い夏の物語。

＜おすすめポイント＞

怪我でリハビリ中やマネージャー、補欠などベンチを温める選手たちの気持ちを全面に表していて、それでも頑張るのは一人一人に何かしらの思いがあるから・・・。

そんな思いに気付かせてくれる一冊だと思います。

高校生の「今」しかない思い、時間を見つけさせてくれると思います。

『ちょっと今から仕事やめてくる』

北川恵海：著

KADOKAWA（メディアワークス文庫）

＜内容＞

仕事でこき使われ心身共に衰弱した隆（主人公）は、無意識で線路に飛びこもうとしたところを「ヤマモト」という男に助けられ、同級生を自称する彼に心を開き何とか生きていく。だが本物の同級生は3年前に自殺していた。

＜おすすめポイント＞

本を読むことが好きでない人にも、大変読みやすい内容です。なぜ、主人公の前に、死んでいるはずの同級生が現れているのか、その理由が分かった時、スカッとこの本を読み終えていると思います。

『覚悟のすすめ』

金本知憲：著

KADOKAWA（角川新書）

＜内容＞

金本はいかにしてダメ虎を常勝軍団にし、連続フルインニング出場の記録を達成したのか。

その肉体、精神力、リーダーシップの秘密に迫っている。

＜おすすめポイント＞

スポーツをする者として大切なこと、「精神」「努力」「チーム」「肉体」「感謝」「リーダーシップ」について書かれているので、アスリートにとってすごく気になる本です。競技に対する考え方や向き合い方の参考になる本だと思います。

『武士道シックスティーン』

誉田哲也：著 文藝春秋（文春文庫）

＜内容＞

武蔵を心の師とする剣道エリートの香織は、中学最後の大会で、無名選手の早苗に負けてしまう。

敗北の悔しさを片時も忘れられない香織と、勝利にこだわらず「お気楽不動心」の早苗。相反する二人が、同じ高校に進学し、剣道部で再会を果たすが…。青春を剣道にかける女子二人の傑作エンターテインメント。

＜おすすめポイント＞

私も剣道をしているので、この話がよく分かった。勝つことを至上の命題とした香織と、自分を高めることを目標とした早苗。勝つことは大事であるが、勝利至上主義にならず自己を高めることも大事である。部活動をしている人もしていない人も、自分はどちらの考え方なのかをあてはめながら読める。剣道を知らない人にも分かるおもしろいおすすめの一冊です。

『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』

AJALT：著 Kodansha Amer Inc

＜内容＞

1～3巻発売中。文字通り「忙しい人」のための初級日本語教材として開発された。“Japanese For Busy People”は5つのユニットごとに学習テーマが設けられている。

＜おすすめポイント＞

この本は外国人が日本語を勉強するために作られた本です。私がイギリスに1ヶ月間行く前に大学の先生からオススメしてもらって勉強していました。外国人向けですが、中身は日本語も書いてあってシンプルでとても分かりやすいです。英語が苦手な人も得意な人も興味がある方はぜひ読んでみてください。

予告今年の草東祭図書委員会企画は・・・

クイズ高得点で景品が当たる♪

「図書委員を探せ！」

文化祭1日目に図書委員会企画実行委員10名が、クイズ問題の札を下げて校内あちこちにいます。実行委員を見つけたら問題を聞いて解答欄に答えを記入。図書館の提出箱に入ると後日、得点順に景品が当たります。ぜひ参加してください！